


English Diary

Stage 1 1行目のテーマをヒントに書いてみよう！

<p>《Date》 (日記を書いた月・日・曜日を書こう！) (例) November 15th (Friday)</p>	<p>《Weather》</p>  <p>()</p>
<p>(1文目：^{ぶんしょう}文章の^{あな}穴をうめよう！) (例) I ate <i>a bagel with cream cheese and a cup of orange juice</i> for breakfast.</p>	
<p>(2文目：それについてのもう少し^{くわ}詳しい^{せつめい}説明を書こう。 (例) <i>It was good. I love cream cheese.</i></p>	
<p>(3文目～)：思ったことやその後におきたことなど、自由に^{くわ}書き加えよう。 (例) <i>But to tell you the truth, I like Japanese style breakfast better.</i></p>	

- * まだ筆記が難しいという生徒の場合には、口頭のみで結構ですのでテーマ (what I ate for today's breakfast など) にそって自分の考えを文章にまとめて言えるように練習をしていきましょう。これは Stage2、3 以降も同様です。
- * 宿題として日記を書くことが難しい場合もありますので、その場合は慣れるまではレッスン中に1つ日記を作成してみて、同じテーマでもう一度書いてみる (あるいは考えて文章を言えるようにしておく) というのを宿題にしてください。
- * 3文に渡って文章を組み立てることが難しい場合には、まずは「穴埋め」とそれについての補足 (2文目) のみを書いた短い日記を作成するところから取り組みましょう。

Stage 3 手紙を書いてみよう

1 手紙を送る相手を考えよう！ (始めはテーマに沿って書きます) (例) Dear <i>my friend Kaori</i> ,
2 何を一番伝えたいのかをまず考えておこう。 (例) <i>Today, I'm going to tell you about Japanese Bon Festival.</i>
3 なぜそれを伝えたいのかという理由や、くわしい説明をしよう。 (例) <i>We will have the festival on August 13th at KUMANO shrine.</i> <i>Do you want to go with me? I can teach you Bon dance.</i>
4 手紙の最後にはお別れの言葉をかくよ。いくつかの例があるから参考にしてね。 (例) <i>I am looking forward to your reply.</i> <i>Please keep in touch.</i> <i>Take care of yourself.</i> <i>I wish to hear from you soon.</i> <i>Your friend, Love, Regards, Yours truly, Sincerely,</i> <i>Hiro Hiro Hiro Hiro Hiro</i>

* 最近は携帯電話などでも簡単に音声や動画を録音できる機能がついているものもありますので、ボイスレターやビデオレターを作成してみても良いですね。

* 手紙を書く相手は毎回同じでも構いません。あるいは毎回先生宛になにかを書いてもらって、交換日記のようにしても良いでしょう。

* なかなか書き出すまでに至らない場合には、まず何回かは先生から生徒に手紙を書いて、その返事を書いて (文章にして作って) もらうところからはじめましょう。